

令和6年度 東小学校関係者評価書

4段階評価 「4」期待以上 「3」ほぼ期待どおり 「2」やや期待を下回る 「1」改善を要する

観点	重点目標	評価指標 (目指す児童像)	方策・手立て	自己評価			平均	学校関係者評価	
				職員	児童	保護者		評価	コメント
知育	基礎・基本の 確実な定着と 学力の向上	意欲的に授業に参加する	・「分かる、できる、楽しい」授業の構築 ・自分の意見を持ち、互いに学び合い、教え合い、協働し合う授業(対話型の授業)の推進	3.0	3.5	3.2	3.2	3.6	○ 知育・徳育・体育において児童の評価が高いことは、教師の指導と児童の学びが充実している証である。 ○ 全体の雰囲気、授業の様子など総じて落ち着きを感じました。個々には課題もあるかと思いますが、先生方の努力があちこちに見られたと思います。
		単元テストで期待平均点以上を目指す	・タブレット端末の日常的・効果的な活用 ・AIドリル等を活用した学習内容の基礎・基本の定着	2.9	3.4	3.1	3.1	3.2	○ 読み聞かせ活動が継続できることに感謝いたします。 ○ 子供たちが少しでも本に興味をもってくれていることにも感謝いたします。
		家庭学習の手引きを利用した学習に取り組む	・家庭学習の手引きを利用した学習習慣の確立 ・朝読書、読み聞かせ活動の充実	2.8	3.4	3.1	3.1	3.4	○ 授業参観で、教職員の方々が一体となり、児童の育成に取り組んでおられ、また、児童も落ち着いて学習に取り組んでいる印象を受けました。
		年間図書貸出冊数 (低)100(中)80(高)50	・図書主任と図書館サポーター、図書委員会との連携 ・年間貸出冊数の目標値設定 ・小中一貫教育の推進(共通理解事項の実践、相互授業参観、合同授業研究会、乗り入れ授業の実施)	3.2	3.1	3.2	3.2	3.5	○ 学校参観のみならず、普段から意欲的に授業に取り組んでいる児童の姿が非常に印象的です。また、タブレットを数年前から取り入れています。図書貸出し冊数も多いと聞いています。映像やネット検索が便利になっている一方、読む力を醸成する読書の大切を児童自身が感じていると思います。 ○ 児童たちが取り組めていると感じていることが素晴らしいです。
徳育	基本的な生活 習慣の定着と 豊かな心の育成	毎日が楽しい児童…90%以上	・自己肯定感の醸成…キャリア教育の充実、特別活動・総合的な学習の時間等の体験活動の工夫、人権教育の推進	3.2	3.5	3.3	3.3	3.7	○ 毎日が楽しいという児童が「3.5」という数値です。ということは、「4」という児童が多数いるとのことではないでしょうか。すばらしいことと思います。
		挨拶・返事・履き物並べの達成率…80%以上	・基本的な生活習慣の指導の徹底 ・ユニバーサルデザイン化	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2	○ キャリア教育の一環としてキッズワークを実施しており、継続することで将来の夢につなげる一助となっていると思います。
		きまりを守り、思いやりのある児童	・校内特別支援委員会における支援の方策の具体化 ・異学年交流の推進	3.0	3.4	3.2	3.2	3.3	また、中心市街地にあり充実した環境下であることもあり、様々な活動に幅広く参画することができるため、たくさんの方々とのかわりを持つ機会も増え、学校内において生活習慣が自然と備わり、自己肯定感も醸成されていると感じます。
		「自分の命は自分で守る」児童	・ボランティア活動、美化活動の推進 ・学校安全計画・安全管理アクションプラン	3.3	3.6	3.3	3.4	3.5	○ 児童たちの自己肯定感が豊かに育まれていると思います。先生たちの努力に感謝します。
体育	基礎体力の 向上と健康的な 生活習慣の定着	「早寝・早起き・朝ごはん」達成率…85%以上	・体育指導の充実(運動量の確保)	2.8	3.2	3.0	3.0	3	○ 家庭内のことを把握できない面もありますが、登校する児童の状況、また、外部公園などで遊んでいる児童の状況からして、健康に育っていると推察しているところです。
		体力向上プラン…D・E判定児童の減少	・体力向上月間・週間の具体的な取組の推進 ・外遊びの奨励	3.1	3.5	3.1	3.2	3.3	○ 学校だけでは、困難な取り組みに対しても努力されていることがよくわかりました。先生方も自信を持っていいと思います。
		「弁当の日」に主体的に取り組む児童	・「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発と具体的推進 ・食育の推進(学校給食の指導の充実と「弁当の日」の工夫)	3.0	3.4	3.2	3.2	3.2	※ 日ごろから、屋外で遊ばず室内でゲームやスマホを利用することが多くなっている時代ではありますが、 年々全体的に体力が低下しているように感じます。 コロナ禍もあって、外遊びの習慣化がされていないこともあると感じます。また、 LINENなどでの学校外での交流についても何かしらのルールが必要 だと思っています。
		健康的な生活習慣の育成	・SNS やゲーム等のルールの定着	3.2	3.5	3.1	3.3	3.3	
ふるさと教育	家庭・地域との 連携と開かれた 学校づくり	地域の素材や人材活用	・学校便り、各種便りの発行、HPの常時更新 ・地域人材の活用と各種事業の積極的な推進	3.2	3.2	3.2	3.2	3.6	○ 地域学校協働活動が広がるとともに、充実してきている。 ○ ブログを拝見しましたが、写真も多く説明文も大変丁寧でわかりやすくなかなか知る機会のない学校の様子がよく理解できました。また、いろいろな場面での地域の人材活用により、交流と連携が図られていることは、高く評価できます。
		情報発信	・PTA・学校運営協議会との連携による教育活動の推進(キッズワークショップ・読み聞かせ・家庭科ミシン補助等) ・まちづくり協議会・公民館活動との連携(土曜学習会への参加促進・清掃奉仕活動の推進等) ・地域に開かれた学校づくりの取組(クラブ活動・読み聞かせ・合唱部等)	3.1		3.1	3.1	3.6	○ キッズワークショップ、地元祭礼など公民館行事への参加などよく対応されていると思います。 ○ 地域とのコミュニケーションが非常に積極的に取れていると思います、一堂に会したボランティア感謝集会でも多くの地域のボランティアの方々が参画されていると思いました。また、PTA事業についても、キッズワークショップは将来の夢へ繋げていく事業として、児童にとっても大切な事業になっています。昨今PTAの存在意義が問われている中に、PTAとしての目的を具現化した素晴らしい事業ととらえています。 ○ 時代の流れに対応した方法で積極的に取り組まれ、地域の人々の協力も得られており、素晴らしいと思います。 ※ 働き方改革を推進し、 働きやすい環境の整備 に努めてほしい。 ※ 学校も地域も厳しい状況にあります。 これまで以上に連携 が求められます。ただし学校に頼るだけではなく、 学校(先生)を守るという視点が必要 だと思っています。東小に行きたいという先生や保護者を増やしたいですね。